

位置	浜田市河内町・三階町		
目的	浸水被害の防止、河川環境の保全、既得取水の安定化		
工事内容	第二浜田ダム 重力式コンクリートダム 堤長L=218.3m 堤高H=97.8m 浜田ダム再開発 重力式コンクリートダム 堤長L=184.3m 堤高H=58.0m 管理用発電設備(追加)		
事業費	472億円(H28価格) 460億円(H26価格)		
費用対効果(B/C)	3.18(H28評価) 2.70(H26評価)		
進捗状況	事業着手 平成5年度 用地着手 平成10年度 工事着手 平成11年度 本体着手 平成20年度	試験湛水 平成27～28年度 事業完了 平成32 31 年度(予定) ※進捗率 86 89 % (H28末)	
再評価経過	H10、H15、H19、H24、H26		
今後の方針	継続		

○ 事業費の変更

現在 460億円 (H26単価) → 変更 472億円 (H28単価) (12億円増 : 2.6%)

- ① 管理用発電設備の追加 6億円増 (1.3%)
- ② 物価の上昇 6億円増 (1.3%)

※H27以降の事業費に物価上昇率を乗じて算定

○ 費用対効果の算定

治水経済調査マニュアル案（H17.4 国交省）により算定

① 便益（効果）

総便益（B） 2,051億円（基準年：H28） ※前回評価時（基準年：H26） 1,608億円（443億円増）

- ・ 想定氾濫区域内の資産データの更新
（家屋や事業所の床面積や評価額など）
- ・ 物価指数の更新

② 費用

総費用（C） 646億円（基準年：H28） ※前回評価時（基準年：H26） 596億円（50億円増）

- ・ ダム事業費の上昇
- ・ 物価指数の更新

③ 費用対効果（B / C）

3.18（基準年：H28） ※前回評価時（基準年：H26） 2.70（0.48増）

○ 工期の変更

現在 変更
H31完了 → H32完了（1年延期）

<主たる理由>

- ・ 管理用発電設備の追加